



## クリーンハンド・クリアヘッド・ウォームハート

校長 小川 秀人

新しい四月が巡り来て、200 人の新入生と 14 名の新任教職員を迎えて、97 年目の「チーム寒高」がスタートしました。「探究」をテーマとした「コース制」が導入され、3 学期制、50 分授業、週三回の 7 校時授業が開始されるなど、学校全体にとっても少なからぬ変化のある新年度の始まりとなりました。四月が終わろうとしています、それぞれ自分なりの生活ペースは出来上がったでしょうか。

日々の授業・部活動・委員会活動など三年間にわたって忙しい寒高生にとって、「**タイムマネジメント**」力は、培っていかねばならない必須能力です。かつて早稲田大学や日本代表で監督としてラグビーチームを率いる一方、住友銀行（現三井住友銀行）の副頭取まで勤められた「宿沢広朗」さんは、自身の学生時代（熊谷高校→早稲田大学）から究極の「文武両道」を実践され、惜しくも登山中 55 歳で急逝されましたが、彼の多忙極まりない日々を支えた言葉に「**クリーンハンド・クリアヘッド・ウォームハート**」という一節があります。“卑怯な振る舞いや汚い近道をせず、優先順位をつけてすべきことを整理し、思いやりを持って互いに支えあいながらチームとして物事に当たる”と言い換えることができるでしょうか。私たちに等しく与えられた目の前の 24 時間を、どうマネジメントしていくのか、高校に入ったばかりの一年生は、特に戸惑うことも多いでしょうが、上級生は自分たちが同じ悩みを持っていた頃を思い出して、後輩たちに、ぜひ丁寧にアドバイスをしてあげてください。さあ五月です。

### 【新任教職員 14 名を迎えました】

国 語	草壁 直樹	(総務専任／水泳部／山形中央高校から)
国 語	田中 恵美	(1年3組担任／新聞部・水泳部／霞城学園高校から)
数 学	京谷 伸一	(教務専任／カヌー部／鶴岡南高から 寒高勤務経験あり)
理 科	村山 郁子	(1年次副担／科学愛好会／山辺高校から)
理 科	大相 英順	(進路専任／ 寒高勤務経験あり)
体 育	水戸部英和	(生徒主任／ハンドボール部／村山産業高から 寒高36回卒)
体 育	阿部 和之	(1年2組担任／野球部／県スポーツ保健課から 寒高45回卒)
英 語	加藤美喜子	(2年次副担／放送部／村山産業高から)
歴 公	御船 悠	(常勤講師：生徒専任／剣道部／上山明新館高から)
美 術	土井友希子	(非常勤講師)、理 科 栗山 潤子 (非常勤講師)
養護教諭	藤本 真実	(生徒保健専任)
実習教諭	柏倉 圭吾	(進路専任／卓球部／新規採用／山形工業高から)
主 査	有川 美香	(事務部／村総支保健企画課から 寒高勤務経験あり)

# 山大合格**30**名（県内**3**位）

平成29年度末進路結果

## 地元志向・県立保健医療大の合格者も増加

卒業年 (卒業生人数)	国公立大合格 (対在籍%)	山形大学	私立大 学	短大 大学校	専門学校 (医療系)	就職	他
H30.3 (191)	<b>59(31%)</b> 進学 <b>58</b>	<b>30</b>	<b>82</b>	<b>11</b>	<b>25 (13)</b>	<b>2</b>	<b>12</b>
H29.3 (193)	65(34%) 進学 57	33	78	9	23 (15)	12	14
H28.3 (196)	68(35%) 進学 67	28 進学 27	83	16	11 (4)	5	14
H27.3 (196)	74(38%)	38	70	12	26(11)	4	10

★国公立大合格者（59名）

→県内(37)〔山形大(30)〈人社⑥、地教⑤、医看①、理③、工⑩、農④〉〕  
〔山形保健医療(6)、米沢栄養〕

→他地区(22)国立〔室蘭工(2)、弘前(2)、福島(3)、新潟(4)、筑波技術、北海道教育〕  
公立〔名寄市立、岩手県立(3)、群馬県立女子、前橋工科(4)〕

★私大進学(82名) ……山形県(17)、宮城県(30)、首都圏その他(35)

★短大・大学校進学(11名) ……米短(6)、文教、仙台青葉短、岩手県立大盛岡短、青山学院短、農林大学校

★就職(2名) ……自衛官、スリーエムジャパン

今春の卒業生の進路結果が、上記のようにまとまった。**国公立大学**の合格者数は**59名**、在籍比**31%**（前年比-3%）、と減少傾向に歯止めがかからなかったのは残念であった。地元**山形大学**への進学者数が昨年に引き続き**30名**を超え、**県立保健医療大**の合格者も昨年から2名増えて**6名**となるなど、私大進学や米沢女子短への進学も含めて、地元志向の進路選択傾向が強く感じられる結果といえる。医療系の専門学校に進学する生徒も昨年度に引き続き多く、進路希望の多様化が一層進展する傾向が見られた。浪人生もよく健闘し、昨年現役合格者を出した山大医学部医学科に合格した他、東北大学、慶應義塾大学など難関大学への合格も果たしてくれるなど、寒高生の持つポテンシャルの高さを感じさせてくれた。来春の入試では、ぜひ現役生から難関大学を果たしてもらいたいと強く願っている。

## カヌー一部増川(3年) 国際大会の切符つかむ

### カヌースプリント Jr. 海外派遣選考会 K1-200m優勝！

3月27日から5日間、香川県で開催された上記大会において、本校カヌー部の増川知保(3-3)が、JWK1の200mで見事優勝を飾り、5月にオーストラリアのアデレードで開催されるジュニアの国際大会に、U-18の日本代表として出場することが決定した。

増川選手は、500mでも僅差で3位入賞を果たすなど、同年代においては日本のトップ選手の一角を占めている。冬季間、水上での練習ができなかった分焦りもあるだろうが、この春からのトレーニングでオーバーワークとならないよう気をつけながら、冬に培った基礎体力を信じて練習を重ね、世界上位を目指して戦ってもらいたい。ガンバレ増川！